

高生産性と高画質の両立を実現した、 ラベル用UVインクジェット印刷機を開発

大日本スクリーン製造株式会社はこのほど、独自の組み込み技術を採用したワンパスヘッド搭載のラベル業界向けUVインクジェット印刷機「Truepress Jet L350UV (トゥーループレス ジェット エル350 ユーブイ)」を開発しました。

Truepress Jet L350UV (drupa 出展モデル)

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo_2012-2013.html)



世界のラベル印刷業界の生産高は2010年に約2兆3,000億円に達し、2012年には約2兆5,000億円、さらに2016年には約3兆円を超える、大きな成長が見込まれる市場とされています。その一方で、商品の多品種化や商品サイクルの短期化が進み、多品種小ロットでの印刷に加え、高品質・短納期・高付加価値化へのニーズが高まっています。それに伴い、必要なときに必要な量だけを印刷できるPOD(プリント・オン・デマンド)システムの導入が活発化しており、ラベル印刷業界におけるPODの比率は2010年の10.8%から、2016年には25.7%まで拡大すると予測^{*1}されています。

このような業界の動向を受けて、当社はUVインクジェット方式のワンパスヘッドを採用したラベル用印刷機「Truepress Jet L350UV」を開発しました。この装置は最大322mmの印字幅に対応し、ラベル用デジタル印刷機としては世界最高クラスとなる毎分50mの印刷スピードを達成。最小3ピコリットル^{*2}の液滴をコントロールできる多値ヘッドの採用に加え、独自の高画質スクリーニングと高度なカラーマネジメント技術を融合することにより、ざらつきのない鮮やかで滑らかな階調を実現します。また、新たに開発した広色域インクにより、従来は特色で表現していたラベル印刷の幅広い色域をCMYK4色のインクでサポートします。さらに、後工程のラミネート機や型抜き機などへのインライン接続にも対応する予定で、さらなる工程の効率化が期待できます。

当社は、「Truepress Jetシリーズ」の新たなラインアップとして「Truepress Jet L350UV」を開発し、ラベル印刷業界への本格的な参入を目指します。そして、ラベル印刷におけるさまざまなソリューションを強化するとともに、同業界での新たなビジネスの可能性を提案していきます。

※1 データ出典：英国・スミサーズパイラ社 (Sourced to Smithers Pira, the worldwide authority on the Packaging, Paper and Print industry supply chains)、1ドル=80円換算。

※2 1ピコリットルは1兆分の1リットル。

* この装置は、5月3日から16日までドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大の国際総合印刷機材展「drupa 2012」に参考出展し、当社ブースにおいて実機によるデモンストレーションを行います。